



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6927 URL <http://www.heliostec-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL) 079-263-9500
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,437	△15.5	△139	—	△76	—	1	—
24年3月期第3四半期	7,618	△30.3	△433	—	△254	—	△1,150	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △1,155百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.06	—
24年3月期第3四半期	△69.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,602	5,875	61.0
24年3月期	9,246	5,850	63.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,860百万円 24年3月期 5,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,178	11.2	326	—	380	—	400	—	24.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	22,806,900株	24年3月期	22,806,900株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	6,259,410株	24年3月期	6,259,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	16,547,490株	24年3月期3Q	16,547,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの企業の復調や個人消費に回復の兆しが見られるものの、海外では、欧州の債務危機問題、中国等の新興国経済の伸び悩みにより、依然不透明な状況が続いております。

このような厳しい経済環境の中、当社グループにおいては、円高による売上の減少が今後数年間続くとの判断を踏まえ、前期に「希望退職の募集、事業資産集約等の事業構造改善（リストラ）」を実施しました。しかしながら、為替については、昨年末以降急速に円安に移行してきており、次四半期以降は、リストラの効果以上の成果が期待できます。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、製造装置の売上計上時期のズレにより前年同四半期と比べ1,180百万円（15.5%）減収の6,437百万円となりましたが、上記リストラ効果により、営業利益は293百万円増の△139百万円、経常利益は177百万円増の△76百万円、四半期純利益は1,151百万円増の1百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、プロジェクター市場において、業務用・学校教育用プロジェクター等の需要は、先進各国を中心とした世界景気の減速が依然続いているにもかかわらず、堅調な推移に戻ってきましたが、円高が依然として大きく影響し、プロジェクター用ランプの売上高は、前年同期比40.1%減の1,078百万円となりました。一般照明ランプについては、節電が叫ばれる中、LEDランプの販売が順調に伸びてきており、またハロゲンランプ等従来ランプについても堅調な推移をみせ、前年同期比14.3%増の1,213百万円となりました。一方、露光装置ユニットにおいては、前年同期比35.9%減の262百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比18.5%減の3,011百万円となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置への投資等、意欲的な投資環境に対応するため、積極的に新装置の開発、及び受注に取り組み、主として、今下期以降の売上につながる受注を順次獲得しております。

当第3四半期連結累計期間においては、納入した大型案件（中国）の製造ラインの検収が遅れており、売上高は前年同期比20.6%減の1,717百万円となりました。

③検査装置事業

検査装置事業につきましては、前期新たに開発したS-Lightを積極的に展開、またスマートフォン、タブレット端末用のマクロ検査装置（探傷検査装置）の納品、UV露光装置の納品がありました。

当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期とほぼ同額の501百万円となりました。

④人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、更なる営業強化を図っておりますが、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比3.1%減の1,390百万円となりました。

セグメント別売上高、営業利益

(単位：百万円、%)

セグメント	前第3四半期連結累計期間			当第3四半期連結累計期間		
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益
ランプ事業	3,693	48.5	10	3,011	46.8	151
製造装置事業	2,164	28.4	△200	1,717	26.7	△94
検査装置事業	510	6.7	△11	501	7.8	36
人材派遣事業	1,435	18.8	74	1,390	21.6	18
調整額	△184	△2.4	△306	△183	△2.9	△251
合計	7,618	100.0	△433	6,437	100.0	△139

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ452百万円増加しております。主な増加は仕掛品1,728百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金875百万円、現金及び預金257百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少しております。主な減少はのれん45百万円、有形固定資産26百万円であります。

その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ3.8%増加の9,602百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ361百万円増加しております。主な増加は前受金1,315百万円であり、主な減少は1年内返済予定の長期借入金340百万円、短期借入金300百万円、支払手形及び買掛金138百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少しております。主な増加は長期借入金100百万円であり、主な減少は繰延税金負債83百万円であります。

その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ9.7%増加の3,726百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加しております。主な増加は新株予約権15百万円あります。

その結果、純資産合計は前連結会計年度末に比べ0.4%増加の5,875百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の63.3%から61.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響額は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,638,928	1,381,349
受取手形及び売掛金	2,808,368	1,932,700
商品及び製品	273,739	211,224
仕掛品	551,960	2,280,201
原材料及び貯蔵品	547,780	475,690
その他	253,768	230,102
貸倒引当金	△23,484	△7,215
流動資産合計	6,051,062	6,504,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	910,752	870,355
土地	1,190,227	1,260,424
その他(純額)	579,254	523,253
有形固定資産合計	2,680,234	2,654,033
無形固定資産		
のれん	120,411	75,257
その他	122,607	98,082
無形固定資産合計	243,019	173,339
投資その他の資産		
その他	319,898	318,364
貸倒引当金	△47,381	△47,292
投資その他の資産合計	272,517	271,071
固定資産合計	3,195,770	3,098,444
資産合計	9,246,832	9,602,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,992	613,068
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	572,330	231,850
未払法人税等	18,793	1,737
前受金	61,469	1,376,902
賞与引当金	131,414	70,343
製品保証引当金	14,178	13,212
工事損失引当金	44,193	283
その他	473,229	422,059
流動負債合計	2,567,600	2,929,456
固定負債		
長期借入金	237,800	338,600
繰延税金負債	297,841	214,826
その他	292,776	243,727
固定負債合計	828,417	797,153
負債合計	3,396,018	3,726,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	2,718,104	2,719,107
自己株式	△1,567,420	△1,567,420
株主資本合計	5,847,728	5,848,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,085	11,702
その他の包括利益累計額合計	3,085	11,702
新株予約権	—	15,455
純資産合計	5,850,814	5,875,889
負債純資産合計	9,246,832	9,602,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,618,877	6,437,954
売上原価	6,118,512	4,768,697
売上総利益	1,500,365	1,669,256
販売費及び一般管理費	1,933,673	1,809,089
営業損失(△)	△433,308	△139,832
営業外収益		
受取利息	103	83
受取配当金	7,132	7,231
業務受託手数料	161,966	40,722
負ののれん償却額	30,114	30,114
為替差益	—	4,219
貸倒引当金戻入額	67,370	17,702
雑収入	17,765	12,286
営業外収益合計	284,452	112,360
営業外費用		
支払利息	12,571	11,770
為替差損	53,566	—
投資有価証券評価損	39,223	21,051
シンジケートローン手数料	—	13,970
雑損失	4	2,013
営業外費用合計	105,366	48,806
経常損失(△)	△254,222	△76,278
特別利益		
固定資産売却益	17,633	—
退職給付制度改定益	67,033	—
特別利益合計	84,666	—
特別損失		
固定資産除却損	7,892	—
減損損失	646,171	—
事業構造改善費用	336,144	—
特別損失合計	990,207	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,159,763	△76,278
法人税、住民税及び事業税	15,842	9,892
法人税等調整額	△25,318	△87,174
法人税等合計	△9,476	△77,282
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,150,287	1,003
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,150,287	1,003

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,150,287	1,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,947	8,616
その他の包括利益合計	△4,947	8,616
四半期包括利益	△1,155,235	9,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,155,235	9,620
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,693,117	2,084,475	466,540	1,374,743	7,618,877	—	7,618,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	123	79,952	44,204	60,589	184,869	△184,869	—
計	3,693,241	2,164,428	510,744	1,435,332	7,803,747	△184,869	7,618,877
セグメント利益又は損失(△)	10,795	△200,749	△11,284	74,461	△126,777	△306,531	△433,308

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△306,531千円には、セグメント間取引消去3,138千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△309,669千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ランプ事業」セグメント、「製造装置事業」セグメント、「検査装置事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「ランプ事業」セグメントで545,369千円、「製造装置事業」セグメントで9,168千円、「検査装置事業」セグメントで91,632千円です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,984,658	1,717,722	403,359	1,332,213	6,437,954	—	6,437,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,766	150	98,071	58,315	183,303	△183,303	—
計	3,011,425	1,717,872	501,431	1,390,529	6,621,257	△183,303	6,437,954
セグメント利益又は損失(△)	151,604	△94,853	36,791	18,163	111,706	△251,539	△139,832

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△251,539千円には、セグメント間取引消去△17千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,522千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。